

(様式1)

令和5年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
富山県国際健康プラザ 健康課

2 施設所在地
富山市友杉151番地

3 施設設置年度
平成11 年度

4 設置目的
すべての県民が健やかでやすらぎのある生活を送ることができるよう、県民の健康に対する意識の向上及び県民一人一人の健康づくりを支援し、併せて、国内外に向けて健康づくりに関する情報を発信する。

5 施設概要
敷地面積：10,7ha（イタイイタイ病資料館を含む）
主な施設
・生命科学館：1,756㎡
・健康スタジアム：トレーニングゾーン、屋内プールゾーン等 5,024㎡
・屋外健康づくり施設：トリムコース、じゃぶじゃぶ池等 約6万㎡

6 指定管理者
公益財団法人富山県健康づくり財団

7 指定期間
3 年
令和4年4月1日 ～ 令和7年3月31日

8 利用者数及び利用（使用）料金収入の状況

(1) 利用者数（人） ※この他、参考となる指標があれば追加

R1	R2	R3	R4	R5
258,917	72,738	111,139	144,055	164,160

(2) 利用（使用）料金収入（千円）

R1	R2	R3	R4	R5
73,280	13,691	28,669	39,299	46,732

(3) 利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

R1	R2	R3	R4	R5
88,949	88,949	88,949	89,150	89,150

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

・令和5年度の利用者数は、令和4年度比113.9%、利用料収入は令和4年度比118.9%だったが、令和元年度(コロナ前)に比べ利用者数は63.4%、利用料金収入は63.7%であった。
・12/8からプール・バーデゾーン床改修工事のため、同ゾーンを利用休止しているが、1/1震災の影響と思われる他施設の休館等に伴い、利用者数は大きく落ち込まなかった。

(2) サービス向上に向けた取組み

・平成18年度からの「利用者モニター会議」や平成22年度からの「お客さまの声」の箱に寄せられた要望等を踏まえ、利用者サービスの向上を図っている。
・令和5年度は、屋外での健康づくりを促進することを目的に「合唱コンサート」を開催し、発声講座も行った。また、「ヘルスプロモーションinスクエア」と称し、従来のヨガ、太極拳に加え、ポルドブラ、ZUMBAの体験事業を実施した。
・令和5年度は、県が推進する「TOYAMATCH(トヤマッチ)」に協賛事業者として登録する他、市町村の婚活事業に健康パークの割引券を提供した。

(3) 利用促進(収入増)に向けた取組み

・平成12年度から県内遠方からでも利用できるよう団体の無料送迎を行っている。
・平成17年度から「市町村の日」を設定し、当該市町村民に施設半額利用サービス等を提供している。
・令和5年度は、若年層やファミリー層等の掘り起こしを図るためカターレ富山のホームゲーム時に割引券を配布した。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	「お客さまの声」の箱を設置し、アンケート用紙を随時回収
回答者数	97件
結果	・障害者用駐車場に何も表示のない車が停まっている ・赤ちゃん連れ用の駐車場を作ってほしい。荷物が多く、雨の日など乗り降りが大変。 ・マッサージ機をずっと独占している人がいる ・久しぶりに来館したがお昼ごはんに困った。何か簡単なものでもあればよい
結果を踏まえた改善事項	・アンケートを回収した時点で対応を検討し、必要な事項についてはできるだけ早急に改善を図っている。 ・また、個別に回答すべき点については、掲示板で回答している。

② その他利用者の声を反映させる取組み

・公募モニター(10名)によるモニター会議を年2回開催し、施設の運営方法等について説明を行うとともに、意見・要望を聴取し、施設運営に反映させている。

③主な苦情と対応

- ・新聞を長い時間読んでいる人がいる→注意書きを掲示した
- ・ミストサウナを再開してほしい→プールのリニューアルに合わせて再開する
- ・土日祝のみの期間利用を作してほしい。→サービス改定が必要な際に検討する

(5) 個人情報保護の取組み

- ・個人情報に関する指針を定めて、職員に周知を図っており、適切な個人情報保護が図られている。

(6) 関係団体との連携

県内の運動型健康増進施設等33施設で構成する「富山県健康増進施設連絡協議会」において、トランスジェンダーの方の対応やタトゥーがある方の対応について意見を取りまとめ、情報を共有した。

(7) 施設・設備の維持管理

- ・適切に管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

- ・富山市消防局と連携した防火訓練の実施
- ・危機管理マニュアル等に基づくAED講習会の実施(12月,3月)
- ・コロナ下において健康スタジアムを営業するに当たり、新型コロナウイルス感染拡大防止マニュアル(入館時受付チェック、スタジアム内の消毒、感染者発生時の対応等)を策定(令和2年度)

10 所管課の管理運営確認状況

- ①定期報告の受理
- ②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③個人情報に関するトラブルの有無
- ④危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/無 回数(有の場合)

有/無	回数(有の場合)
有	12
有	3
無	—
有	1

【トラブルの具体的内容と対応】

- ・3/26プール床改修後、再開時に利用者の転倒事故が発生した。
→再開当日夜に、再度利用休止とした。

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

- ・施設や設備、備品の老朽化が進んでおり、計画的な修繕・更新が必要
- ・市町村、企業等への利用促進による県内全域からの幅広い年齢層の利用の促進
- ・関係団体、施設との連携による健康増進の中核施設としての機能強化
- ・イベントの実施等による施設の一層の周知
- ・健康づくりに関して集積した情報やノウハウの公開
- ・「市町村の日」の活用をさらに呼びかけるとともに、利用可能日の拡充
- ・効率的な運営に向けた業務の見直しによる費用の削減徹底
- ・利用料金の決済方法の多様化に向けた、キャッシュレス決済の導入